

新年おめでとうございます

当財団は昨年5月に公益財団法人の認定が降り、6月1日公益財団に移行登記いたしました。

一般公開する演劇・映画の専門図書館としての図書館事業は今までと変わることなく、利用者の皆様へのきめ細かなサービスに努めてまいります。

一昨年から始めた閲覧室内での展示も18回を数え、小規模ながら利用者への資料紹介の役割を果たしております。今年も当館ならではの展示を企画いたします。

公益財団法人になりましたので、当財団へ寄附金を下さる方には税法上の優遇が受けられるようになりました。何卒、当館の活動にご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

松竹大谷図書館 スタッフ一同



立版古(祇園祭礼債功記金閣寺の場 四枚つづき)
復刻版組立(完成形の一部) 当館にて発売中です! (¥1260-)

平成23年度 第40回 大谷竹次郎賞 決定

大谷竹次郎賞は、その年の1月～12月に各劇場の本興行で上演された新作歌舞伎脚本、新作舞踊劇脚本の最優秀作に贈られます。

今年度の受賞作は下記の通りです。

— 記 —

*大谷竹次郎賞
該当作なし

* 同 奨励賞

・G2(作・演出)『東雲烏恋真似琴(あけがらすこいのまねごと)』

平成23年8月新橋演舞場上演

・国立劇場文芸課(脚本)『開幕驚奇復讐譚(かいまくきょうきあだうちものがたり)』

平成23年10月国立劇場上演

≫≫ 御寄贈いただきました

2011年12月27日

紀伊國屋ホール様より、
演劇プログラム235冊など、その他多数の資料をご寄贈いただきました。
どうもありがとうございました。

≫≫ 資料出品展示・放送協力

『わが心の歌舞伎座展』に展示出品

平成23年12月20日から12月26日まで、仙台市の〈藤崎百貨店〉と、平成23年12月30日から平成24年1月9日まで浜松市〈遠藤百貨店〉で開催されていた『わが心の歌舞伎座展』に、当館所蔵資料の歌舞伎座プログラム、歌舞伎座90周年記念品や百年記念ポスター、さよなら公演の切符袋などを展示出品しました。

≫≫ お知らせ

ホームページをリニューアルしました

もうご覧になった方もいらっしゃると思いますが、昨年12月9日、当館のホームページをリニューアルいたしました。当館のホームページが初めて開設されたのは平成14（2002）年7月。事務所にパソコンが導入されてからまだ1年ばかりの事で、職員がようやくマウスやウィンドウの操作にも慣れた頃でした。それ以来、部分的な修正はしましたが、大きな変更は一度も行いませんでした。このたび松竹株式会社経営情報企画部広報室のHP担当者の多大な協力を得て、内容を一新、先月のニューズレター公開と同時にリニューアル版のホームページに切り替えました。

これまでは、【トップページ】【梗概】【利用案内】【財団事業内容】【刊行物】だけの構成で、内容もあまり詳しくありませんでしたが、今回のリニューアル版は、【トップ・利用案内】【概要－「資料の内容と特色」「沿革」「設立から開館まで」「大谷竹次郎賞について」「受賞歴」】【財団事業内容・刊行物】【アクセスマップ】と構成を増やし、短い文章ではありますが、それぞれのページで出来る限り当館の活動や歴史が分かるような内容にし、また写真も増やしました。検索方法や開館カレンダーはPDFファイルにし、利用者が印刷して使用しやすいようにいたしました。HP担当者から適切なアドバイスを受けつつ、一生懸命知恵を絞って見やすく分かりやすいホームページを目指してリニューアルいたしました。いかがでしょうか？

こちらのHPアドレスまでどうぞ！ ⇒ <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>



■ 松竹系 12月公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
新橋演舞場	『銀のかんざし』	○	○	○	○
	『殿様茶店の恋日和』	○	○		
平成中村座	『菅原伝授手習鑑 車引 賀の祝 寺子屋』	○	○	○	
	『芦屋道満大内鑑 葛の葉』	○	○		
	『積恋雪関扉』	○	○		
	『秀山十種の内 松浦の太鼓』	○	○		
平成中村座 (試演会)	『歌舞伎のみかた』				
	『菅原伝授手習鑑 寺子屋』				
	『お楽しみ座談会』				
日生劇場	『基盤忠信』	○		○	○
	『新古演劇十種の内 茨木』	○			
	『鋳引』	○			
	『口上』				
	『歌舞伎十八番の内 勸進帳』				
松竹座(大阪)	関西ジャニーズJr. X'masコンサート2011				
南座(京都)	『寿曾我対面』	○		○	○
	『お江戸みやげ』	○			
	『隅田川』				
	『与話情浮名横櫛 見染・源氏店』	○			
	『楼門五三桐』	○			
	『源平布引滝 実盛物語』	○			
	『元禄忠臣蔵 仙石屋敷』	○			
	『六歌仙容彩 喜撰』	○			
『らくだ』					
康楽館	康楽館復興25周年記念坂東玉三郎特別舞踊公演				

ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします

■ 他社公演資料 ■

あうるすぽっと	1 1月	『ある馬の物語』プログラム 『おやすみ、かあさん』プログラム
大阪新歌舞伎座	1 2月	『細川たかし神野美伽師走特別公演』プログラム
国立劇場小劇場	1 1月	『舞の会 京阪の座敷舞』プログラム
	1 2月	『第一七七回 文楽公演』プログラム、床本 『第四三回文楽鑑賞教室』プログラム
国立劇場大劇場	1 2月	『元禄忠臣蔵』プログラム、台本
国立文楽劇場	1 2月	『師走浪曲名人会』プログラム
テアトルエコー	1 1月	『アラカン!』プログラム
帝国劇場	1 1月	『ミュージカル ダンス オブ ヴァンパイア』プログラム
俳優座劇場	1 1月	『十二人の怒れる男たち』プログラム
パルコ劇場	1 1月	『トライアングル2』プログラム
文学座アトリエ	1 2月	『MEMORIESメモリーズ』台本
本多劇場	1 1月	『ノーアート・ノーライフ』プログラム
明治座	1 2月	『前川清・秋元順子特別公演』プログラム、台本

(新規登録資料案内 続き)

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『カルテット!』	○	○	○		

■ 映画プログラム ■

『ニューイヤーズ・イブ』 『マジック・ツリーハウス』
 『神の子たち』 『第七官界彷徨 尾崎翠を探して』

■ 演劇雑誌 ■

『あぜくら』平成23年12月号
 『舞踊芸術』2011年12月号
 『近松研究所紀要』2011年12月(22号)
 〔《特集》追悼 棚町知彌先生 入口敦志／棚町知彌先生略歴・業績一覧 入口敦志／〔資料紹介〕享保十七年度江戸中村座顔見世番付 水田かや乃／〔資料紹介〕『響升尾上鐘』齊藤千恵／鎌倉恵子『浄瑠璃・歌舞伎の舞台と上演』近藤瑞男／内山美樹子『文楽二十世紀後期の輝き 劇評と文楽考』乾安代〕
 『Confettiかわら本』2012年1月号
 『悲劇喜劇』2012年1月号
 〔《特集》2011年の回顧、2012年の抱負／追悼・斎藤憐 《掲載戯曲》さいたまゴールド・シアター『ルート99』岩松了〕
 『邦楽の友』平成24年1月号
 『ほうおう』2012年2月号
 〔《インタビュー》中村勘太郎改め六代目中村勘九郎 《特集》新派四季暦『東京物語』開幕! 山田洋次 監督が語る脚本、演出の弁。〕
 『神奈川芸術プレス』2011年Vol. 103
 『喝采』2012年3月
 〔《特集》博多座三月公演『時代劇版101回目のプロポーズ～百壱通目の恋文～』武田鉄矢 浅野温子 インタビュー〕
 『国立演芸場公演ガイド』平成24年1月号
 『日本照明家協会雑誌』2011年12月号
 〔《インタビュー》舞台美術家 島次郎さんにきく 《特集》頑張ろう、ニッポン!! vol. 4 「調光操作卓の共通データの現状 フロッピーデスクの製造中止を考える」(前編)／2011 LDI Report in Orlando, Florida, U. S. A!〕
 『日本演劇興行協会会報』2011年(41号)
 『シアターアーツ』2011年冬(49号)
 〔ポストドラマ演劇(以後) 《掲載戯曲》『1924 Tokyo-Berlin』やなぎみわ／『1924 海戦』やなぎみわ(原案)、あごうさとし(脚本)〕
 『シアターガイド』2012年2月号
 〔《特集》「下谷万年町物語」唐十郎 蜷川幸雄 宮沢りえ 藤原竜也 西島隆弘／「ボニー・&クライド」濱田めぐみ&田代万里生／「寿歌」堤真一&戸田恵梨香&橋本じゅん／新派「東京物語」山田洋次&水谷八重子&波乃久里子／「壽初春大歌舞伎」中村吉右衛門&中村鷹之資〕
 『テアトロ』2012年1月号
 〔《特集》演劇で世界の“家族”を考える 《掲載戯曲》「畏」クワン・タワ／「お伽草子／戯曲」永山智行／「路上3・11」川村毅〕
 『Theatre Communications Korea-Japan』2011年No. 31
 『ヨーロッパ通信』2011年(9号)
 〔《特集》ヨロ通しか載せない! 京都案内／スミタカメラクラブ／稽古場写真集〕
 『伝統文化新聞』2011年(67号)

(新規登録資料案内 続き)

■ 映画雑誌 ■

『ドラマ』2012年1月号

〔《特集》第23回フジテレビヤングシナリオ大賞受賞作発表／『企画』と上手に付き合う方法 里島美和 《掲載シナリオ》『蝶々さん～最後の武士の娘～ 後編』市川森一〕

『映画秘宝』2012年2月号〔《特集》このミステリにだまされろ！／監督 園子温大研究〕

『衛星劇場プログラムガイド』2011年12月号、2012年1月号

『エキブ・ド・シネマ』2011年No. 185〔「風にそよぐ草」〕

『FLIX』2012年2月号

〔《特集》瑛太&丸山隆平『ワイルド7』／水谷豊／及川光博／五十嵐隼士／福士蒼汰&渡部秀／古川雄輝／田中麗奈／西田征史／レオナルド・ディカプリオ／ミア・ワシコウスカ〕

『キネマ旬報』2011年12月下旬号

〔《特集》アクション王道を往く！「ミッション：インポッシブル ゴースト・プロトコル」／映す、映る 総括、ドキュメンタリー2011／「リアル・スティーラー」／ぼくらの街のオーディオ・ビジュアル〕

『キネマ旬報』2012年1月上旬号

〔《特集》加瀬亮、世界を呼吸する／3・11をふまえて 何をするのか、何を描くのか／映画のデジタル化を考える／今の時代の「ワイルド7」！〕

『NFCニューズレター』2011年12月-2012年1月号(100号)

〔《特集》よみがえる日本映画 [新東宝篇]／文化庁「工芸技術記録映画」〕

『NFCカレンダー』2012年1月号

『日経エンタテインメント!』2012年1月号

〔《特集》映画・テレビ・CM・音楽・本・ゲーム・マンガ・アニメ2011ヒット総まとめ／女優・男優100人お仕事通信簿／業界を騒がせた2011年ニュース100〕

『ピクトアップ』2012年2月号74号

〔《特集》『平清盛』大河ドラマの底力 松山ケンイチ／加瀬亮／香取慎吾／玉木宏／『ロボジー』矢口史靖×吉高由里子／山崎貴『ALWAYS 三丁目の夕日 '64』『フレンズ もののけ島のナキ』〕

『SCREEN』2012年2月号

〔《特集》2012年の映画界を大予想！／新春おめでとうBIGインタビュー集／トム・クルーズ来日&「ミッション：インポッシブル／ゴースト・プロトコル」〕

『シナリオ教室』2012年1月号

〔《特集》「一億人のシナリオプロジェクト」活動報告 《掲載シナリオ》第21回「シナリオS1グランプリ」受賞作：準グランプリ『日向の刀』重田善文／佳作『ピンクの鳥ガラ』鈴木愛／佳作『大団円』目黒啓太〕

『シネフェックス』2012年January No. 23

〔《特集》『キャプテン・アメリカ ザ・ファースト・アベンジャー』／『カウボーイ&エイリアン』／『ハリー・ポッターと死の秘宝 Part 2』〕

■ 書籍 ■

『日本劇映画作品目録 平成22年』

『表象とかたち 伊藤熹朔と昭和の舞台美術』

『邦画の昭和史 スターで選ぶDVD100本』 長部日出雄(著)

『HOTWAX 日本の映画とロックと歌謡曲 vol. 3』

『ホリプロ50年史 あなたに逢えて、よかった』

『緑波写真館』

『特集 新資料で知る南湖院 茅ヶ崎と文化人』 小川稔(著)

『人形劇団プーク35周年記念パンフレット1920-1964』

『人形劇団プーク 人形 舞台・テレビ・映画』

『八王子車人形』

『壬生狂言解説』 壬生大念仏講(編)

『落語『宮戸川』の後半にかくされた趣向について』 松本尚久(著)

『市川團十郎 自元祖至九世 古今名優似顔文庫』

日本映画製作者連盟

早稲田大学演劇博物館

新潮社

ウルトラ・ファイヴ

ホリプロ

晶文社

茅ヶ崎市

人形劇団プーク

人形劇団プーク

人形劇団プーク

壬生大念仏講

明星大学

杉浦組出版部

● 所蔵資料展示案内 ●

第18回『東京物語』展

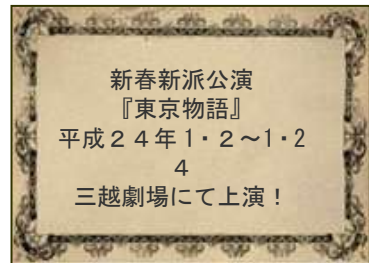
展示期間:2012年1月10日～1月25日 於:松竹大谷図書館閲覧室

平成24年最初の展示は映画『東京物語』の資料です。『東京物語』は「尾道に住む老夫婦が上京し、東京で生活する子供達の家を訪問するものの、久々に会う子供たちにはそれほど歓待されず、早々と尾道に帰る」という、ごく単純なストーリーですが、ある家族のひと時を淡々と見せる事によって人間の普遍的な愛や哀しみが滲み出すように描かれており、製作から60年近く経った今も、時代を越え人々を魅了する作品となっています。今月、三越劇場の新春新派公演では、この『東京物語』が舞台上で甦ります。小津作品では、なにげない会話や食事のシーンなどの日常生活が丁寧に描かれて、それがまた1つの魅力となっていますが、新派の舞台でも、炊事や配膳、着替など、日常生活の1コマが芝居の中で自然に演じられている事がよくあります。新派の俳優が持つ、日常の動きをさりげなく、そして美しくみせるという芸の力をもって『東京物語』が上演される事により、これまで多くの資料で語りつくされているこの作品の魅力を、改めて発見していただけることと思います。

さて、今回は『東京物語』のスチール・プレス・スクラップブック・台本などの所蔵資料から選んで展示いたしました。撮影中のスナップでは、ロー・ポジションに据えたカメラを覗く小津監督のスナップが特に有名です。カメラの後ろに座る小津監督が、ゴザの上に胡座をかいて、さらに身体を折り曲げるようにしていることから、非常に低い位置にカメラを設置している事が分かります。また、熱海の旅館のシーンで笠智衆と東山千栄子に演技指導を行う小津監督のスナップなどもあります。

小津安二郎監督やその作品に関する書籍は数多く出版されておりますが、今回は『リプロ・シネマテーク 小津安二郎 東京物語』(リプロポート 昭和59年)を展示いたしました。この本は映画の全ショットを撮影した写真を収録し、小津監督使用台本とサウンドトラックから採録した台詞を合せて載せることで、4コマ漫画のように映画を再現しています。また、付録として

『東京物語』小津監督使用台本の全頁の写真を収録しています。小津監督の台本は複数の色鉛筆でカット割などの書込がなされており、写真とはいえ生の小津監督の資料に触れる事の出来る貴重な資料です。



■『東京物語』■

昭和28年(1953) 松竹 小津安二郎 監督
野田高梧・小津安二郎 脚本

■『東京物語』 主な受賞記録■

- 昭和28年度キネマ旬報
 - ・ 日本映画ベストテン第2位
- 第8回(1953年度)毎日映画コンクール
 - ・ 女優助演賞(杉村春子)
- 東京都民映画コンクール
 - ・ 昭和28年下半期第1位
- 昭和28年度芸術祭賞
- 昭和28年度ブルーリボン賞
 - ・ 邦画ベストテン4位
- 昭和28年度シナリオ作家協会賞
- 昭和28年度NHK選定ベストテン
 - ・ 邦画5位
- 第2回コーク映画祭 アイルランド特別賞(1957年)
- ロンドン映画祭第1位サザーランド賞(1958年)
- サイト・アンド・サウンド誌映画史上最良の作品ベストテン 第3位(1992年)

■『東京物語』関連資料展示一覧■

1. 撮影スナップ 小津安二郎監督
2. 撮影スナップ 東山千栄子、小津安二郎、笠智衆
3. スチール
 - 平山勇(毛利充宏)・平山とみ(東山千栄子)・平山周吉(笠智衆)・平山実(村瀬幸)・平山紀子(原節子)・金子志げ(杉山春子)・平山幸一(山村聡)・平山文子(三宅邦子)
4. スチール 平山周吉(笠智衆)・平山とみ(東山千栄子)
5. スチール
 - 平山とみ(東山千栄子)・平山周吉(笠智衆)・金子志げ(杉山春子)
6. プレスシート(チラシ)
- 7・8. 台本(準備稿)
9. 完成台本
10. スクラップ (スチール)
 - (1)平山とみ(東山千栄子)・平山紀子(原節子) (2)平山紀子(原節子)・平山とみ(東山千栄子) (3)平山とみ(東山千栄子) (4)平山とみ(東山千栄子)・平山紀子(原節子)・平山周吉(笠智衆)
11. 『リプロ・シネマテーク 小津安二郎 東京物語』(リプロポート 昭和59年)